

第3回市民懇話会 の振り返り

議題 1

目次

- 1 全体スケジュールと今回の議題 2
- 2 第3回市民懇話会の議題・テーマ
と主なご意見 3

1 全体スケジュールと今回の議題

【各回のテーマ】

令和6年 12月20日	第1回	①緑の基本計画と富士市の現状を知る ②緑に期待する役割を考える
令和7年 2月5日	第2回	富士市の緑の将来像を考える
6月6日 (金)	第3回	将来像を実現するための取組を考える (その1)
7月18日 (金)	第4回	将来像を実現するための取組を考える (その2)
8月29日 (金)	第5回	次期計画の素案について
		パブリックコメント
令和8年 1月頃	第6回	パブリックコメントの結果報告と 計画案について

2 第3回市民懇話会の議題・テーマ と主なご意見

議題1 次期計画の将来像について

議題2 将来像を実現するための取組を考える（1）

テーマ1

緑に関心を持つきっかけ

テーマ2

子や孫にさせたい緑とのふれあい体験

議題 1 次期計画の将来像について

＜第3回市民懇話会に提示した3案＞

考え方 市内の様々な緑が富士山を望むまちの魅力となるよう、
市民が主体となつてはぐくみ、未来へつないでいくまちをめざす
ことを表現する

案1 みんなではぐくむ 富士山と緑の輝くまち

案2 みんなでつくる 緑あふれる富士のまち

案3 富士を彩る豊かな緑を
みんなではぐくみ、未来へつなぐまち

<いただいたご意見>

- ・ 各案の良い部分を組み合わせて一つの案にまとめていく進め方かどうか。
- ・ 案1の「みんなではぐくむ 富士山と緑輝く街」が良い。「はぐくむ」という言葉には、豊かさや心の部分まで含まれているように感じ、「輝く」という言葉も、市の総合計画などとの整合性が取れている。
- ・ 案2の「あふれる」を「豊かな」に変え、「みんなでつくる緑豊かな富士のまち」とするのがよいと感じる。
- ・ 「つくる」は新たに何かを生み出すイメージが強く、既存のものを大切に育てるという意味で「はぐくむ」の方がよい。
- ・ これまでの議論の要素を考えると、主体は「みんなで」がふさわしい。そして、これからは緑を維持していくというイメージから、動詞は「つくる」より「はぐくむ」が適している。キーワードに水も入るかと思ったが、シンプルに「富士山と緑」がよい。そう考えると、案1「みんなではぐくむ富士山と緑の輝くまち」をベースに、意見を反映させていくのがよいのではないか。
- ・ 持続可能性という視点はぜひ入れた方がよい。市の「生物多様性富士戦略」のスローガンにも「未来へつなごう」という言葉が入っている。案1にこの要素を組み込めるとよい。

議題 1 次期計画の将来像について

市民懇話会
のまとめ

みんなではぐくみつなぐ
富士山と緑の輝くまち

庁内の意見聴取

将来像
(案)

みんなではぐくみ、つなぐ
富士山と緑の輝くまち

(読みやすさを考慮し、「はぐくみ」と「つなぐ」
の間に「、」を追加)

議題2 将来像を実現するための取組を考える（1）

テーマ1 緑に関心を持つきっかけ

子どもの関心喚起

ポイント 成功体験をつくる

● 関心を高める室内型の体験

- ・ 自然体験型のゲームソフトの活用
（例）あつまれ どうぶつの森

● 実体験を通じた成功体験づくり

- ・ ビオトープ管理
- ・ 種だんごづくり（子どもに人気）
- ・ 間伐体験、ジビエ、木工体験（森林組合）
- ・ 携帯で草花の種類・名前がわかるアプリを活用した参加型のゲーム
- ・ 庭がなくても土地がなくてもできるグリーンカーテン
- ・ こどもエコクラブ（こども+若い母親）
- ・ いきもの調査
- ・ 苔盆栽

大人の関心喚起

ポイント 緑以外の入り口からアプローチする

お茶/茶畑を景色として味わう
茶畑ウォーク

景色
→ 自然環境

公園ウォーキング

健康 → 緑

→ 公園の使いやすさ向上
歩きやすい環境、ベンチなど
植栽のメンテナンス
も重要（丸火自然公園も）

一万歩ウォーキング

→ 案内板などのインフラ整備も
必要

健康、歴史
→ 緑

議題2 将来像を実現するための取組を考える（1）

テーマ2 子や孫にさせたい緑とのふれあい体験

アウトドア体験の場づくり

キャンプ、アウトドアショップ
子どもがハンモックに興味津々



公園でハンモックを貸出し
疑似 **アウトドア 体験**



より深い
学びに
つながる

農業体験などを通して
地域の魅力を伝える

「グリーンツーリズム」

富士山の火山地形や断層といった
大地の成り立ちから防災意識を育む

「ジオツーリズム」

小学校等における体験の拡充

(例) 花壇植え付け（春・秋）

→ 低学年の子どもも参加を。

(例) 学年ごとの鉢植え（年1回）

→ 四季を通じた活動に。

コミュニティ・スクールでの野菜作り

**専門知識を持つ地域ボランティア
団体の協力が重要**

市内の企業が主体となってホタル観察
できる場があることが素晴らしい！

情報発信

体験の入口は **ほとんどSNS**

- InstagramやTikTok、YouTube（動画）を活用した**映像による情報提供**
（子どもが見たくなるコンテンツ、植物の手入れ講座、素敵な場所を紹介するショート動画など）
- **緑をアピールするインフルエンサー**

2 第3回市民懇話会の議題・テーマ と主なご意見

個別の事業に関するご意見

意見要旨	対応（案）
「バラいっぱい運動」について、管理が徹底されず、植えっぱなしになっているケースが多く見受けられる。苗を配布する際に管理体制の有無を確認するなど、植えた後のことまで考えた仕組みが必要ではないか。	個別事業における課題として、改善策の検討を進めます。
令和4年に市が発表した南富士カントリークラブの跡地活用計画は、第二次計画には記載がなかった。第三次計画との間にはどのような関係があるのか。	跡地活用への都市整備部の関わりは限定的であり、個別事業を長期計画にどこまで反映させるかは、現時点では判断が難しいため、担当部署（環境総務課、産業政策課）の意見も聞きながら、第三次計画における取り扱いについて庁内検討委員会で確認します。